



かしのっ子

令和7年度
学校だより 第7号
都城市立葉子野小学校
令和7年10月 1日
文責：校長 溝口 常彦

★命の尊さを考える学校保健委員会～親子の対話のきっかけに～★

9月17日(水)、人権教育推進校として学校保健委員会を開催しました。今回は、都城医療センターの助産師さんを講師としてお招きし、「性と生」についての講話をしていただきました。

講話の中で、助産師さんは性教育を「生きる術を伝えること」と表現されました。「自分の体は自分だけのもの」であり、誰にも触らせない、そして、いざという時には「いやだ」と伝えてよいこと。また、「みんな違ってみんないい」ということを子どもたちに伝えていく大切さを話してくださいました。

講話の途中には、別の助産師さんが赤ちゃんの人形を持って、参加者の保護者の方々の席を回ってくださいました。まるで本物の赤ちゃんを抱いているかのように、優しい眼差しで微笑んだり、驚きの表情を見せたりと、生き生きとした保護者の方々の表情がとても印象的でした。

今回の講話は、子供たちの成長を支える上で、性教育が単なる体の変化を教えるだけでなく、自分自身を大切に、相手を思いやる心を育むための重要な機会であることを改めて学ぶ時間となりました。参加された保護者の皆様、貴重なお時間をいただきありがとうございました。



★「私だけの本」見つけた!★

2・3年生の読書がスタート: 都城市電子図書館

2年生と3年生の教室が、喜びと興奮に包まれました! この日行われたのは、『都城市電子図書館 (Miyakonojo City Digital Library)』を利用して、自分で本を借りる学習です。子どもたちはタブレットを片手に、デジタルな読書の世界へ飛び込みました!

【ログイン! 開いた画面に「わー!」と歓声が】

まずは、トップページからアカウントを作成し、ドキドキしながらログインに挑戦です。「パスワード、合ってるかな…」と、キーボードを慎重に叩く子どもたち。そして、ついにログインが完了し、カラフルな本の表紙がずらりと並んだ「みんなで読める本」の画面が表示されると……「わー! すごーい! 本がこんなにあるよ!」「まるで、魔法の本棚みたいだね!」と、教室のあちこちから歓声が上がりました。その表情は、これから始まる新しい読書体験への期待でいっぱいです。

いよいよ本を借りる時間です。借りたい本を選び、「借りる」ボタンを押してマイライブラリーに追加。あっという間に本を借りることができました!

本を借りた子どもたちは、待ちましたとばかりに画面を開き、すぐに読書に没頭!!



★10～11月の主な行事★

★ 感染症対応等の事情により、変更等が生じる場合があります。

10/1日(水)	命の大切さを考える日
1日(水)	くれよん号来校←地区の方も貸出できます
2日(木)	3校合同宿泊学習(5年生)
3日(金)	※御池青少年自然の家
7日(火)	稲刈り(5年生)
9日(木)	修学旅行(6年生)
10日(金)	※桜島、知覧特攻平和会館等
13日(月)	スポーツの日(祝日)
18日(土)	庄内地区慰霊祭 6年生代表参加
24日(金)	秋の遠足(1～4年生)
28日(火)	持久走練習開始
20日(月)	脱穀(5年生)
30日(木)	合同学習(6年生)



10月

11月

11/4日(火)	命の大切さを考える日
2日(日)	庄内ふるさと祭り 1～2日
4日(月)	すこやかアンケート調査～7日
4日(月)	6年生陸上教室(クロキリstadium)
4日(月)	児童集会(全校遊び: 2校時)
4日(月)	いもほり週間～7日
7日(金)	持久走練習(11・12・14・18・21日)
10日(月)	教育相談週間～14日
10日(月)	心のプレゼント週間～14日
19日(水)	庄内地区小中一貫全体研修会 1年・6年生の授業公開をします。
25日(月)	みやざき小中学校学習状況調査
28日(金)	参観日(2～3校時)
25日(月)	花植え週間(一人一鉢)～28日

9～10月 菓子野小学校ホームページより

毎日、かしのっ子の学習や生活の様子を菓子野小ホームページに掲載しています。スマホのカメラ機能からQRコードを読み取り、子どもたちの活動をご覧ください。

★菓子野小学校HPアドレス★ → <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1315/>

【菓子野小HP】



9月11日(木) 国際交流員との交流学習～アメリカの文化にビックリ！～

1年生から4年生までの子どもたちが、アメリカ、中国、モンゴルの3名の国際交流員の先生方と交流しました。特に2年生の教室では、アメリカ出身の先生との交流学習が行われ、子どもたちは驚きと発見に満ちた時間を過ごしました。アメリカはさまざまな民族が移り住んでできた国であることを教えてもらい、子どもたちは「へえ！」と声をあげていました。さらに、先生がアメリカの広大な自然や州ごとの違いを映像で見せてくれると、そのスケールの大きさに目を丸くしていました。



9月17日(水) 命の重みを感じる特別授業 ～助産師さんから学ぶ「命の教育」～

6年生は助産師さんをお招きして、生命の誕生や体の変化について学ぶ「性に関する指導」を受けました。まず、助産師さんの仕事についてのお話を聞き、私たちの体がどう成長していくのか、男女の体の違いについて学びました。画用紙に開いた小さな針の穴が卵子の実際の大きさと同じだと知り、子どもたちからは「えっ、こんなに小さいの!？」と驚きの声があがりました。

続いて、お母さんのお腹の中での赤ちゃんの成長や出産の様子の動画を観ました。実際に赤ちゃんと同じ重さの人形を抱っこしてみると、「うわ、思ったより重い!」「この重さの赤ちゃんがお腹に入っているなんて、お母さんすごいな」と、命の重みと母親のすごさを実感しているようでした。



9月24日(水) 読み聞かせの魔法! ～毎月恒例の図書委員の豊かな表現力～

毎月恒例の図書委員会による読み聞かせが、今月も開催されました。今回読み聞かせを担当してくれたのは、6年生の図書委員さんです。この日のために、声のトーンや読むスピードを変える練習を家でも一生懸命に重ねてきたそうです。物語のタイトルは、みんなが大好きな公園の遊具をテーマにした、鈴木のおたけさんの『ぶらんこ』。

お話が始まると、子どもたちの目は真剣そのもの。読み手の図書委員さんは、ブランコに乗っているかのように、本を左右に揺らしながらお話を読み進めます。絵本の中のぶらんこが空に飛び出し、雲になったり、海になったりする場面では、「わあ!すごい!」「私も乗ってみたい!」といった声が自然と聞こえてきます。身を乗り出して絵本を見つめたり、驚きや楽しさでいっぱいの表情を浮かべたりする姿は、読み聞かせの楽しさを物語っていました。

